

Ⅷ 県が取り組むべき施策

「県が取り組むべき施策」や「神奈川県らしい教育に生かしたいもの」について、教員、保護者、学校評議員に聞くことで、本県の教育行政に期待するところや、神奈川の特徴を生かした独自の教育についての考えを把握することにした。

調査の結果、「県が取り組むべき施策」については、「少人数学級などきめ細かな個に応じた学習指導」、「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」への回答の割合が高くなっている。

また、「神奈川県らしい教育に生かしたいもの」については、「個性豊かでたくましい人づくり」が三者共に最も多い回答になっている。

Ⅷ－１ 県が取り組むべき施策

「県が取り組むべき施策」について、教員、保護者、学校評議員に聞いたところ、全体では6割以上が「少人数学級などきめ細かな学習指導の充実」と回答しており、次いで「いじめ・暴力行為、不登校などへの対応」という回答が全体の5割以上を占めている。

「少人数学級などきめ細かな学習指導の充実」（教員 76.9%、保護者 61.9%、学校評議員 60.2%）が三者共に最も高い割合となっており、その中でも特に教員が高い。

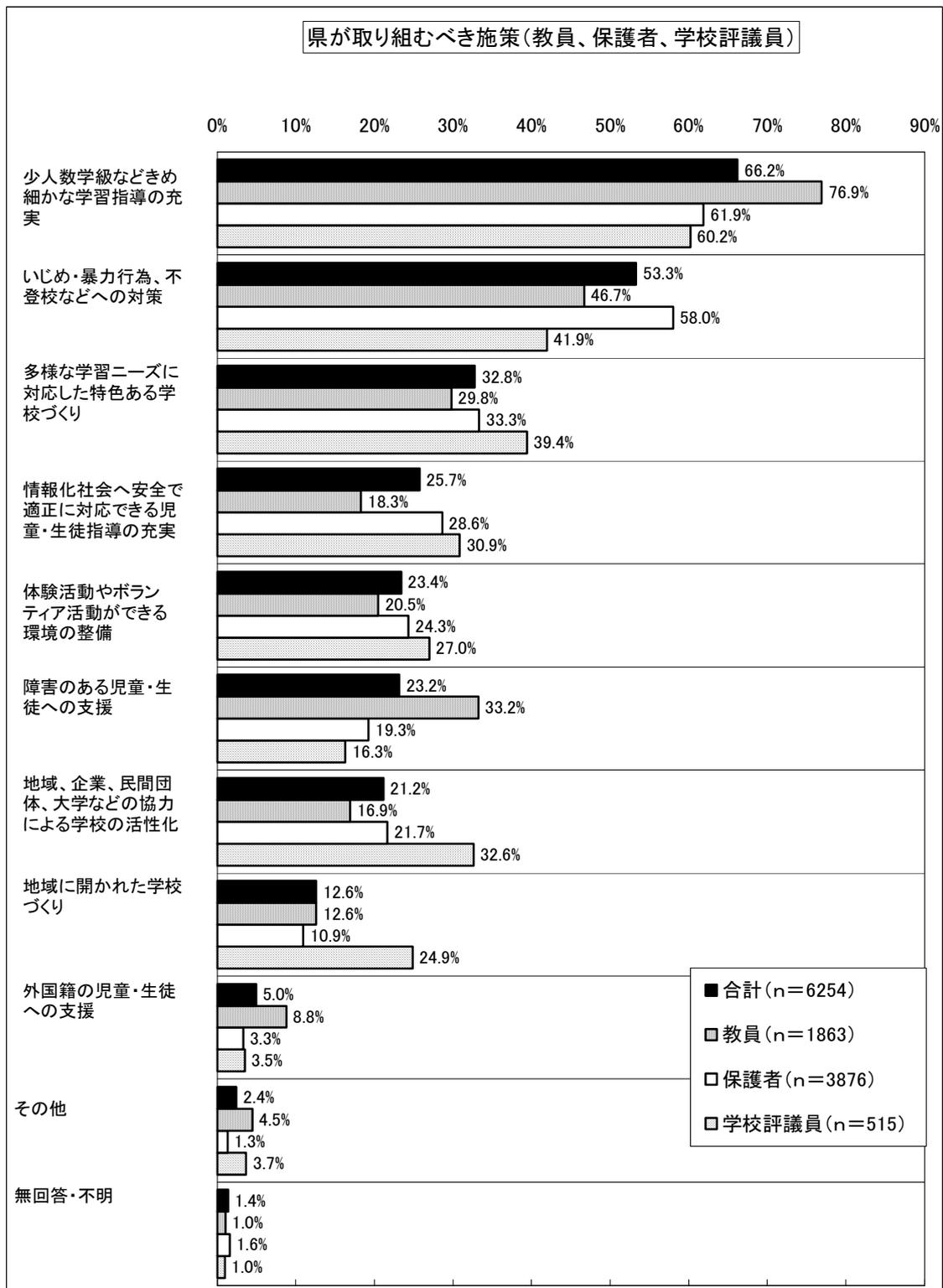
次いで「いじめ・暴力行為、不登校などへの対策」（教員 46.7%、保護者 58.0%、学校評議員 41.9%）となっており、特に保護者の割合が高い。

その他、教員では「障害のある児童・生徒への支援」（33.2%）、学校評議員では「地域、企業、民間団体、大学などの協力による学校の活性化」（32.6%）が上位にあがっており、「地域に開かれた学校づくり」は教員（12.6%）、保護者（10.9%）に比べて学校評議員（24.9%）の割合が高くなっている。（表Ⅷ－１、図Ⅷ－１参照）

表Ⅷ－１ 県が取り組むべき施策（上位５項目）

	教員	保護者	学校評議員
1位	少人数学級などきめ細かな学習指導の充実（76.9%）	少人数学級などきめ細かな学習指導（61.9%）	少人数学級などきめ細かな学習指導（60.2%）
2位	いじめ・暴力行為、不登校などへの対策（46.7%）	いじめ・暴力行為、不登校などへの対策（58.0%）	いじめ・暴力行為、不登校などへの対策（41.9%）
3位	障害のある児童・生徒への支援（33.2%）	多様な学習ニーズに対応した特色ある学校づくり（33.3%）	多様な学習ニーズに対応した特色ある学校づくり（39.4%）
4位	多様な学習ニーズに対応した特色ある学校づくり（29.8%）	情報化社会へ安全で適正に対応できる児童・生徒指導の充実（28.6%）	地域、企業、民間団体、大学などの協力による学校の活性化（32.6%）
5位	体験活動やボランティア活動ができる環境の整備（20.5%）	体験活動やボランティア活動ができる環境の整備（24.3%）	情報化社会へ安全で適正に対応できる児童・生徒指導の充実（30.9%）

図Ⅷ－ 1



Ⅷ－２ 神奈川らしい教育に生かしたいもの

「神奈川らしい教育に生かしたいもの」について、教員、保護者、学校評議員に聞いたところ、三者共に「個性豊かでたくましい人づくり」と回答した割合が最も高くなっている。

次いで、教員と学校評議員は「共生社会の実現をめざすボランティアや社会貢献活動」、保護者は「社会のグローバル化に対応した国際理解や外国語コミュニケーション」が高くなっている。

大人全体では、「個性豊かでたくましい人づくり」(40.2%)が最も多く、「社会のグローバル化に対応した国際理解や外国語コミュニケーション」(30.7%)、「温暖化やエネルギーなど地球規模で取り組むべき問題」(27.7%)、「共生社会の実現をめざすボランティアや社会貢献活動」(26.4%)、「神奈川の歴史や伝統文化・風土」(25.6%)の順に高くなっている。

また、教員、保護者、学校評議員それぞれで見ても、「個性豊かでたくましい人づくり」(教員 39.0%、保護者 40.0%、学校評議員 46.0%)が最も高い割合となっている。以下については、それぞれ異なった順位となっており、教員は、「共生社会の実現をめざすボランティアや社会貢献活動」(30.7%)、保護者は、「社会のグローバル化に対応した国際理解や外国語コミュニケーション」(34.7%)、学校評議員は、「共生社会の実現をめざすボランティアや社会貢献活動」(31.7%)が次いで高くなっている。(表Ⅷ－１、図Ⅷ－２参照)

表Ⅷ－２ 神奈川らしい教育に生かしたいもの(上位5項目)

	教員	保護者	学校評議員
1位	個性豊かでたくましい人づくり (39.0%)	個性豊かでたくましい人づくり (40.0%)	個性豊かでたくましい人づくり (46.0%)
2位	共生社会の実現をめざすボランティアや社会貢献活動 (30.7%)	社会のグローバル化に対応した国際理解や外国語コミュニケーション (34.7%)	共生社会の実現をめざすボランティアや社会貢献活動 (31.7%)
3位	神奈川の歴史や伝統文化・風土 (29.5%)	温暖化やエネルギーなど地球規模で取り組むべき問題 (30.0%)	社会のグローバル化に対応した国際理解や外国語コミュニケーション (31.3%)
4位	温暖化やエネルギーなど地球規模で取り組むべき問題 (25.0%)	共生社会の実現をめざすボランティアや社会貢献活動 神奈川の歴史や伝統文化・風土 (23.6%)	神奈川の歴史や伝統文化・風土 (26.8%)
5位	社会のグローバル化に対応した国際理解や外国語コミュニケーション (22.3%)	土 (23.6%)	温暖化やエネルギーなど地球規模で取り組むべき問題 (20.4%)

図Ⅷ－２

